

## 第15回 卒業証書授与式

3月1日(金)、第15回卒業証書授与式を挙りました。卒業生の17名の皆さん(家政科2名、食物科15名)、ご卒業おめでとうございます。柳校長からは、式辞の中で、『笑顔大切に』という言葉贈ります。笑顔は相手をいい気持ちにさせるだけでなく、自分自身をも力づける人生の万能薬、幸せのパスポートです。『人は幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せなのだ。』という言葉もあります。』と饒の言葉が贈られました。そして結びに、『真心を尽くす』という生き方についてお話しします。皆さんが本校で学んだ家庭科は、誰かの幸せを支え演出する学問でありそのための技術です。誰かの幸せのために力を尽くすこと、誰かの喜びのためにひと手間の工夫を凝らす、このことに自らの喜びと幸せを見いだせる生き方。この真心を尽くすという生き方、『利他の精神』こそ、これからの未来を生きるあなたたちにとって何よりも大切な生き方だと私は思っています。』と、最後のメッセージが熱く伝えられました。

また、お礼の言葉の中で、卒業生代表の南葵さんは、在校生の人数が少ない中でも精一杯学校生活を楽しんだ思い出を語るとともに、「時には反抗して、迷惑をかけてしまうこともありましたが、まるで友達のように、たわいもない会話で盛り上がり、私たちに笑顔にしてくれました。どんなときでも私たちのことを考え、支えてくださった先生方には本当に感謝しています。」「これまで私たちを温かく見守ってくれた家族。数々の心配と迷惑をかけたと思いますが、それでも私たちを支えてくれました。無事に卒業の日を迎えることができたのは家族の御陰です。』とお世話になった先生方や家族への感謝の気持ちを伝えてくれました。

～ 海南下津高校最後の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

海南下津高校での記憶よ、永遠に ～



## 閉校式

3月1日(金)、卒業式に引き続き閉校式が執り行われました。閉校式では海南市長、海南市教育委員会教育長など、ご出席くださった方々にご挨拶頂いたあと、調理師免許証取得のために特にお世話になった海南海草調理師会並びに海南海草調理師会会長中岡勲様に、学校長より感謝状を贈呈させていただきました。

また、式中、生徒会長藤井葵さんが「母校がなくなってしまうことに、心から淋しい気持ちがこみ上げてきます。」「海南下津高校を選んで本当に良かったと実感しています。そして、最後の学年の生徒として、この海南下津高校を卒業できることを誇りに思います。』と、生徒を代表してその心情を伝えてくれました。

そして最後に、学校長から教育長に校旗が返還され、皆で校歌を斉唱して閉校式を終えました。海南下津高校は令和6年3月31日をもって、17年の歴史に幕を下ろします。皆様ありがとうございました。

